

年初に思うこと

●基幹労連・事務局長

ご安全に

昨年9月の基幹労連定期大会で事務局長に選出され、新たに労調協の理事となりました。よろしく願いいたします。

基幹労連の挨拶は「ご安全に」、これは働く仲間の安全を思いやる気持ちと自らの誓いであります。皆様にとって2024年が安全で穏やかな実り多き一年となりますことをご祈念申し上げます。

～取り巻く環境～

私たちを取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による景気後退から回復傾向にあるものの、長期化するロシアによるウクライナ侵攻や、インフレの継続とそれに伴う長期金利の上昇、不動産市況の低迷による中国経済の減退などにより、世界経済の回復ペースは遅くなっています。経済の不確実性が増しているなか、次年度以降においても経済成長の鈍化が予想されています。また、国内では為替の変動や原材料・副資材・エネルギー価格高騰による産業・企業の業績、国際競争力への影響も懸念される状況にあり、昨年から続く物価上昇は生活へも大きな影響を与えています。

一方、超少子高齢・労働力人口減少社会において、ものづくり産業を発展させていくためには、DX（デジタルトランスフォーメーション）・第4次産業革命への取り組みに加え、産業・企業の枠を超えたオールジャパンでの対応が必要不可欠なカーボンニュートラ

ルの達成とそれに向けたGX（グリーントランスフォーメーション）への対応が求められています。

～好循環の創造に

に向けた継続した「人への投資」～

いよいよ春闘（基幹労連では「AP24春季取り組み」と言います）が始まります。

基幹労連は、2年を一つのパッケージとして取り組みを進めており、今年は、賃金、年間一時金、退職金、労働時間・休日、ワーク・ライフ・バランスの実現、65歳現役社会の実現に向けた取り組みなど、労働条件全般を総合的に改善していくことを目指す「総合改善年度」として取り組みます。

基幹労連に関係する企業では、引き続き厳しい経営状況となっている企業がある一方、多くの企業で一定程度の収益確保を見込んでいます。産業・企業の競争力強化につなげるべく生産性を向上させ、将来にわたって魅力ある産業・企業であり続けるためには、職場全体の活力発揮が必要不可欠です。また、高技能・長期能力蓄積型産業である基幹産業にとって、将来にわたる優秀な人材の確保と定着は、産業・企業の発展と現場力の維持・強化の観点から重要な課題です。基幹産業で働く者が希望と誇りをもって「働きたい・働き続けたい」と思ってもらうためにも、それにふさわしい労働環境や労働条件の構築が必要不可欠であります。

AP24春季取り組みにおいては、基幹労



連の基本理念である「魅力ある労働条件づくり」と「産業・企業の競争力強化」の好循環の創造、その実現に向けて、労使でしっかり話し合い、積極的かつ継続的な「人への投資」に向けた取り組みを展開していかねばなりません。AP24春季取り組みの成功に向け、相乗効果が発揮できるよう、基幹労連加盟組合全体が連携を密にした取り組みを展開したいと思います。

～政策実現に向けて～

今期の運動方針のスローガンは「ともに歩もう 笑顔あふれる未来に向けて」です。

そして、我々の基本理念である「魅力ある労働条件づくり」と「産業・企業の競争力強化」は車の両輪であり、そのもとで、産業政策、政策・制度課題の解決は、産業別労働組合に求められる重要な活動の一つです。働く者の安心・安定に資する政策を実現していくためには、政治との関わりを避けて通ることはできません。

基幹労連は、組織内議員「村田きょうこ」参議院議員をはじめ、ものづくり産業の重要性和私たちの求める政策について理解いただいている国会議員の方々の協力を得て、大臣要請や関係省庁の担当者への折衝などを行ってきました。

第27回参議院議員選挙において、基幹労連としてはJAMさんが擁立する候補予定者「郡山りょう」氏の推薦を昨年9月開催の定期大会で確認させていただきました。こうした活動を継続しながら、政策実現に取り組むとともに、次なる戦いに向けた組織力の強化と活動の理解・浸透に努めていきたいと思えます。

～結びに～

基幹労連は、生い立ちも歴史も違う鉄鋼労連・造船重機労連・非鉄連合が、3年間の準備期間を経て2003年9月9日に統合・結成、また2014年の建設連合との統合を経て、結成から20年という節目を迎えることができました。3産別の歴史と伝統を大切にしながら準備を進められ基幹労連を結成された諸先輩方、その後の20年間、中央本部、県本部・県センター、加盟組合、構成組織に関わられた皆様、また関係組織・団体の皆様に支えられた20年だったと思えます。

あらためて統合・結成の際に作られた基幹労連のロゴは、「地球規模の視野を持ち、連帯・創造・向上を旨とする」ものです。これからは厳しい時代、先の見通せない状況が続くかもしれませんが、先達の思いをしっかりと継承し、「頼れる産別・誇れる産別」にし

ていければと思います。

皆で知恵を絞り基幹労連の運動を前に進めてまいりますし、加盟組合の皆さんの思いに応え、そしてお役に立てるように精進してまいります。

毎年、年初に思う「初心忘るべからず」で活動してまいります。共に頑張りましょう。

ご安全に